

「手紙」についてのアンケート

<調査概要>

調査方法: インサーチモニターを対象としたインターネット調査
分析対象者: 札幌圏内在住の15歳以上男女
調査実施期間: 2009年10月15日(木)~10月18日(日)
有効回答者数: N=560

全体	560名	100%
男性	262名	47%
女性	298名	53%

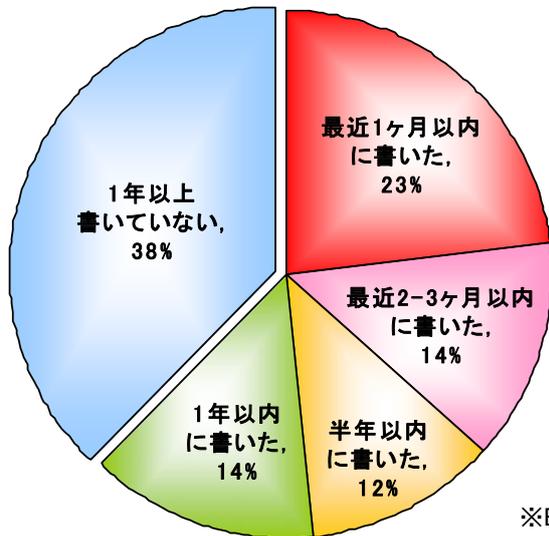
実施機関: 株式会社インサイト

<結果の要約>

- 直近1年間に手紙やハガキを書いた人は全体の6割(62%)。
ただ、全体の65%が以前に比べて手紙を書かなくなったと感じており、“手紙離れ”の傾向が見受けられる。
- 手紙やハガキを“出す”ことが好きな割合は35%(非常に好き+どちらかというと好き 計)にとどまる。
手紙やハガキのネガティブイメージとして、「自分の字の上手い下手が気になる」、「伝えたいことがうまく書けない」といった懸念や、「直筆で文章を書くのが面倒」が上位に挙がっており、これらが、手紙離れの一因になっている可能性も考えられる。
- 一方、手紙やハガキには、「直筆から伝わるあたたかさがある」、「開封する楽しみがある」といったポジティブなイメージも抱いており、手紙やハガキを“もらう”ことについては、86%が嬉しいと感じている。
また、全体の77%が、気持ちを伝える手段として、手紙やハガキを必要だと感じている。
- 属性別の傾向として、女性や20代以下は、「直近1年間に手紙を書いた人の割合」、「手紙やハガキを出すことが好きな割合」、「手紙やハガキの必要性を感じる割合」がいずれも他の属性に比べて高く、手紙やハガキへの関与度が強い。

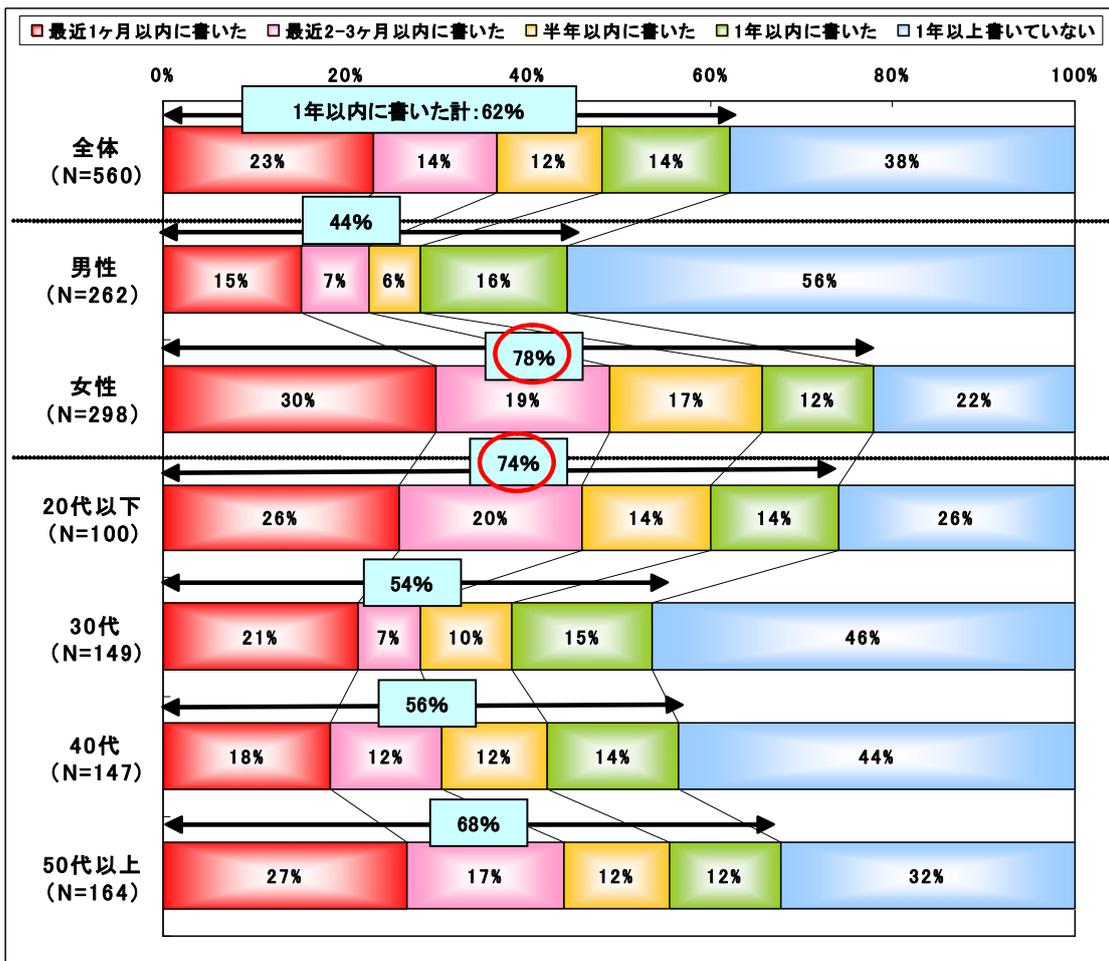
【最近、手紙やハガキを書いたのはいつ？】

Q:あなたは、最近、いつ手紙やハガキを書きましたか。



最近1年以内

※Base: 全体(N=560)

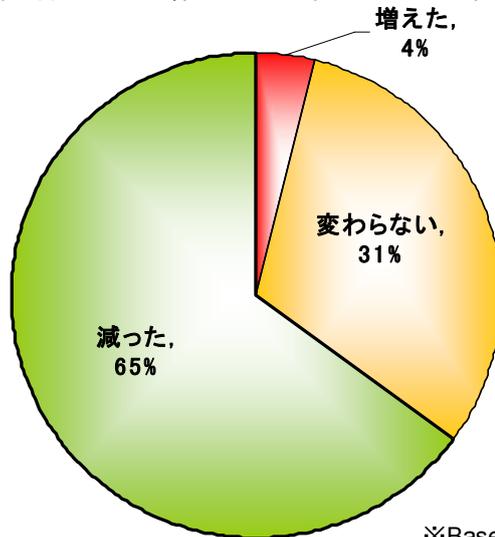


※Base: 全体

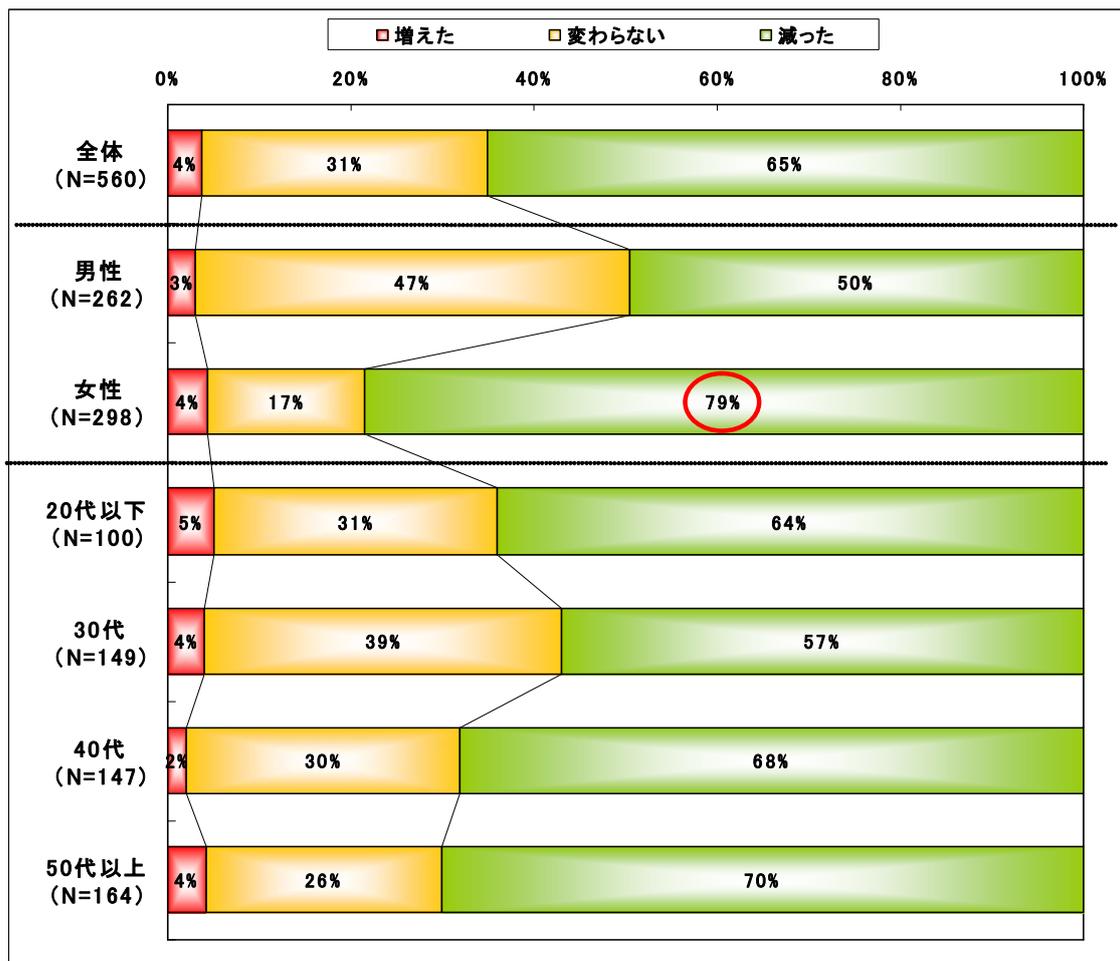
➤ 最近1年以内に手紙やハガキを書いた人の割合は全体の6割(62%)。
 属性別では、女性や20代以下において、直近1年間に手紙やハガキを書いた人の割合が高い傾向。

【手紙やハガキを出す頻度の変化】

Q: 手紙やハガキを出す頻度は昔に比べて増えましたか。減りましたか。



※Base: 全体(N=560)

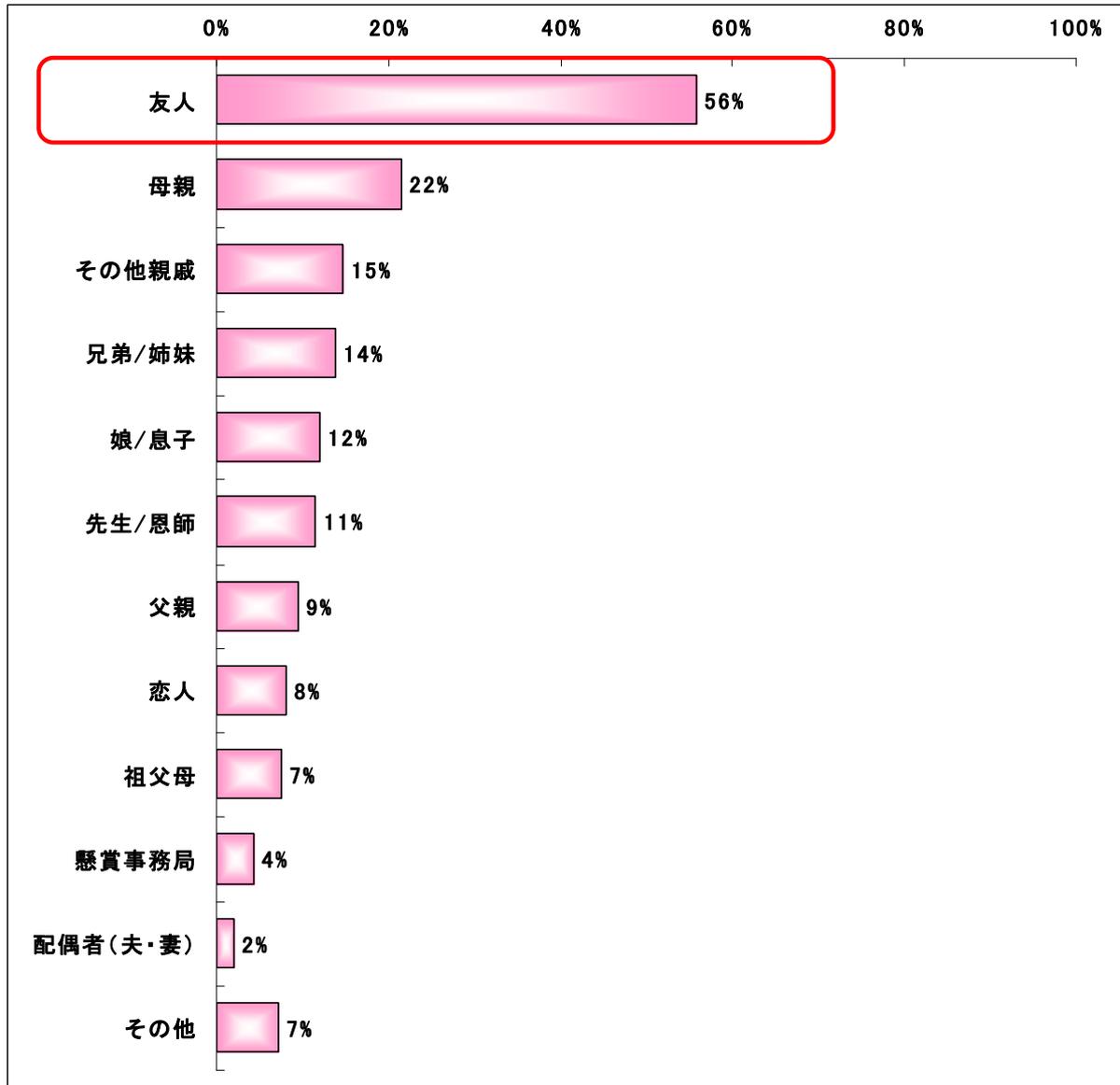


※Base: 全体

➤ 手紙やハガキを出す頻度が「減った」と感じている割合は全体の65%。特に、女性においては8割近く(79%)を占める。

【手紙やハガキを出す相手】

Q:あなたがふだん、手紙やハガキを出す相手をすべてお選びください。(いくつでも)

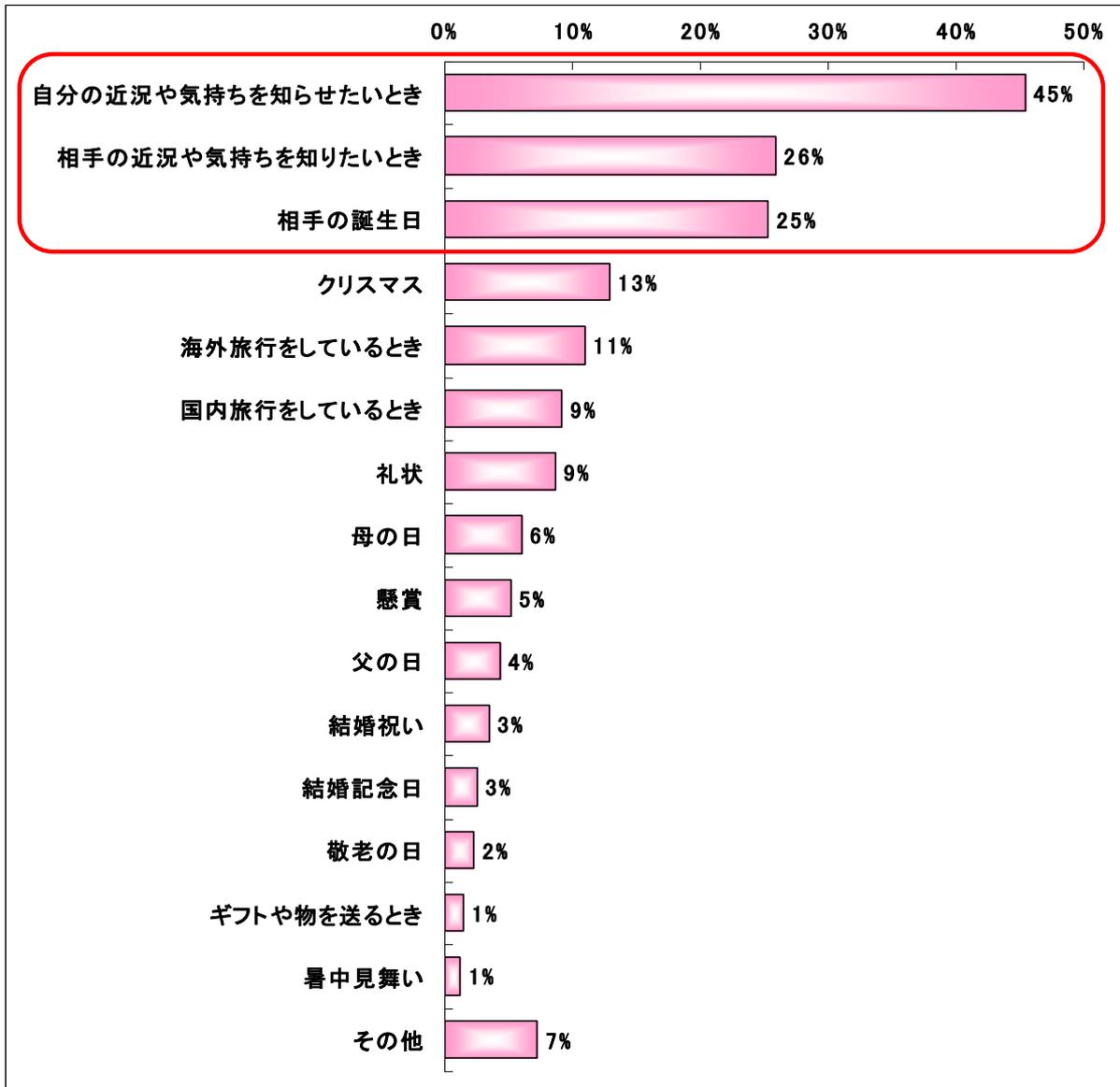


※Base: 最近1年間に手紙やハガキを書いた人(N=348)

➤ ふだん手紙を出す相手は「友人」が最も多い。

【手紙やハガキを出す場面】

Q:あなたは、ふだん、どんなときに手紙やハガキを出しますか。(いくつでも)

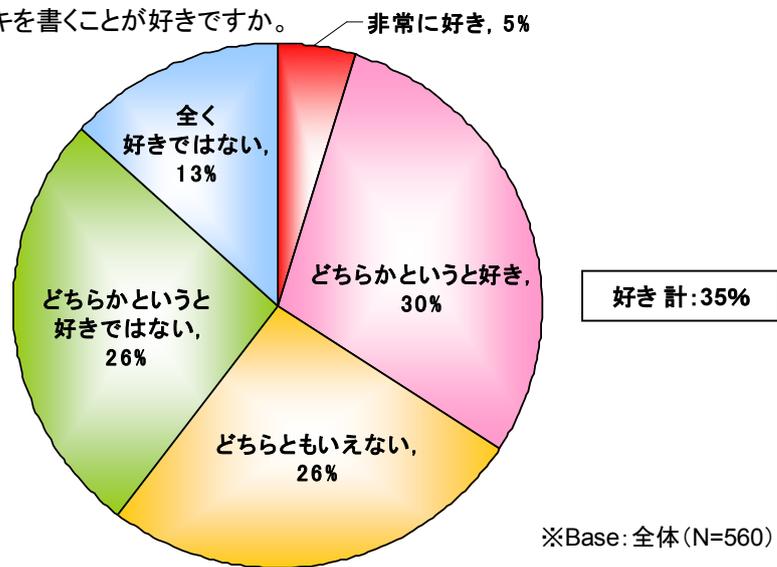


※Base: 最近1年間に手紙やハガキを書いた人(N=348)

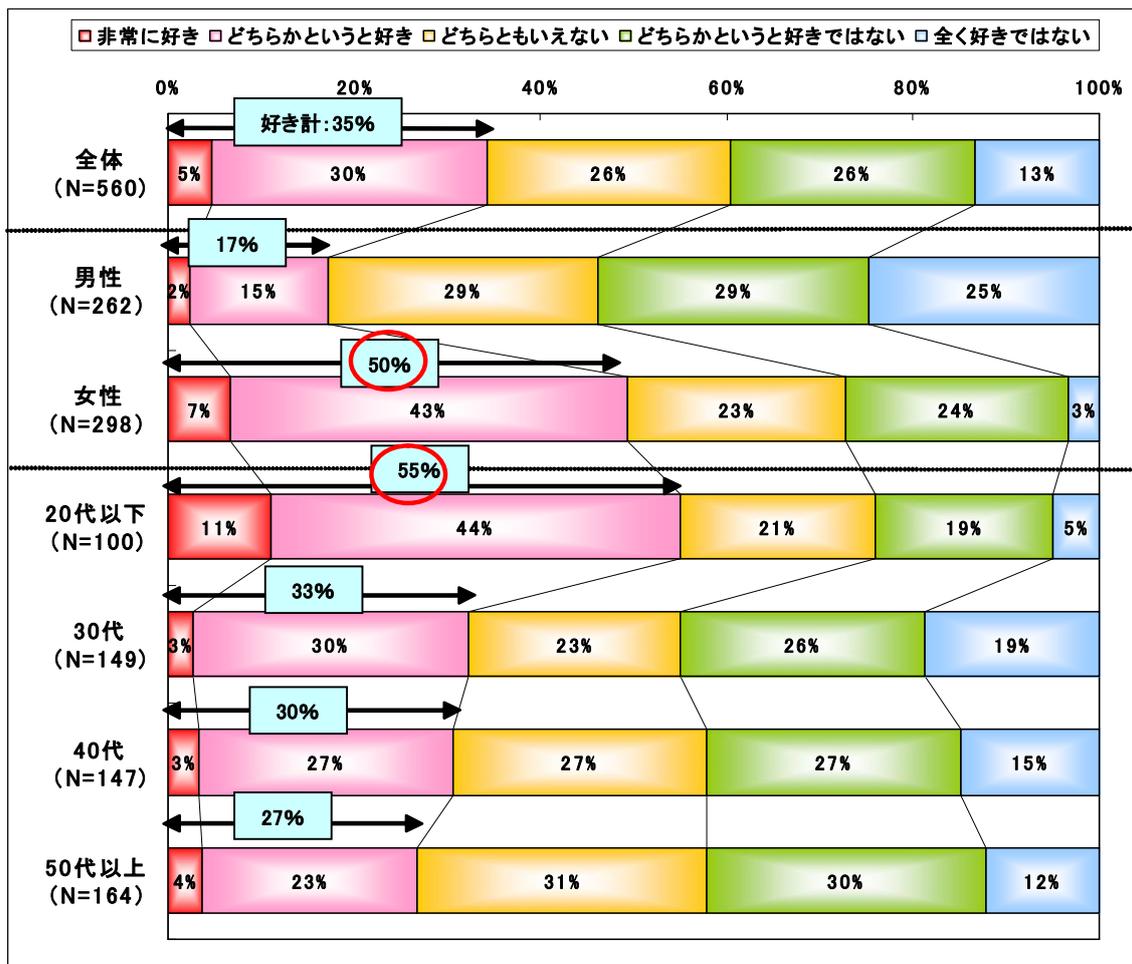
➤ 手紙やハガキを出す場面として、「自分の近況や気持ちを知らせたいとき」が最も上位に挙がり、次いで、「相手の状況や気持ちを知りたいとき」、「相手の誕生日」が続く。

【手紙やハガキを出すことについて】

Q: あなたは手紙やハガキを書くことが好きですか。



※Base: 全体 (N=560)

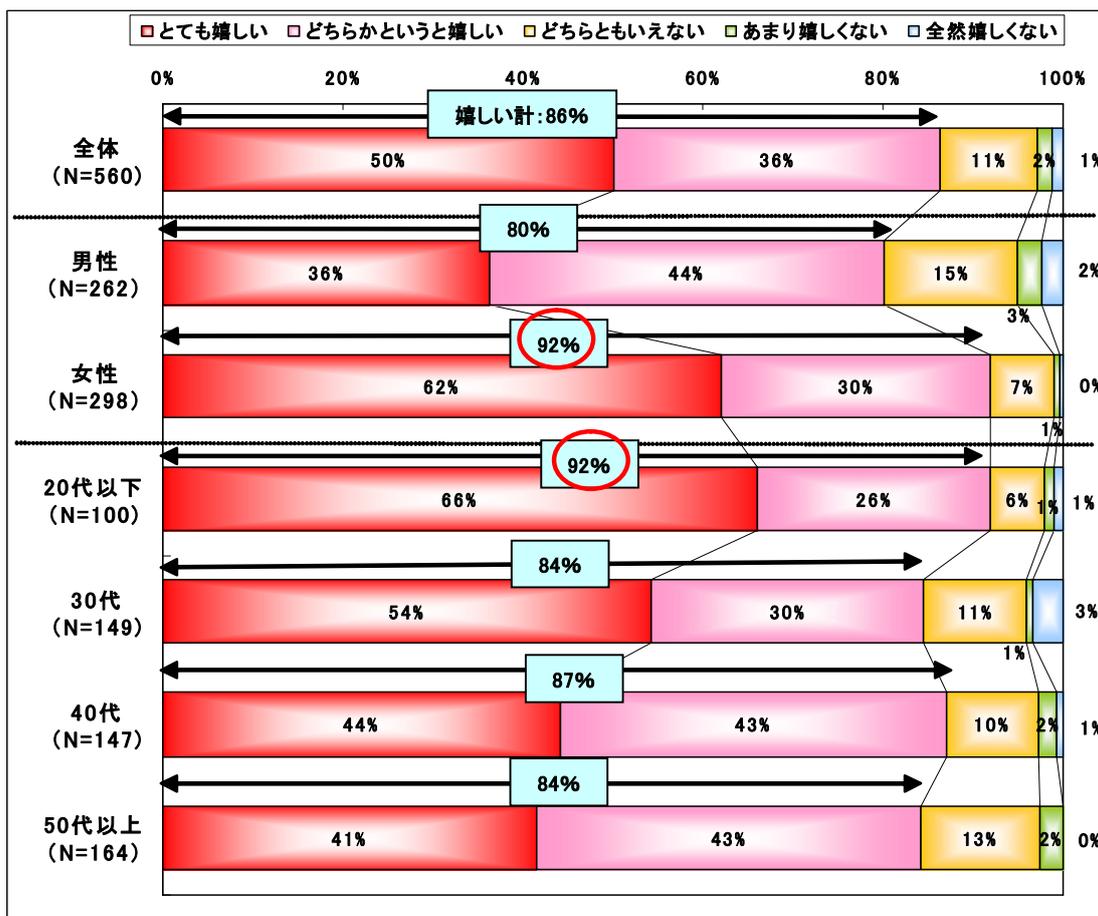
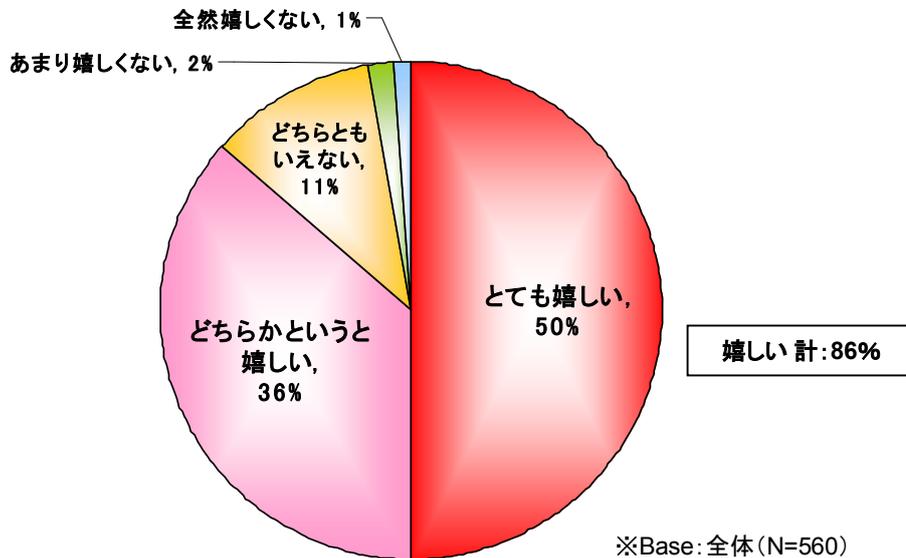


※Base: 全体

➤ 手紙やハガキを“出すこと”が好きな人(「非常喜欢」+「どちらかという好き」回答者)の割合は35%。特に、女性は男性に比べ、20代以下は他の年代に比べて、手紙やハガキを書くことが好きな人の割合が高い。

【手紙やハガキをもらうことについて】

Q: あなたは親しい人から手紙やハガキをもらうと嬉しく思いますか。

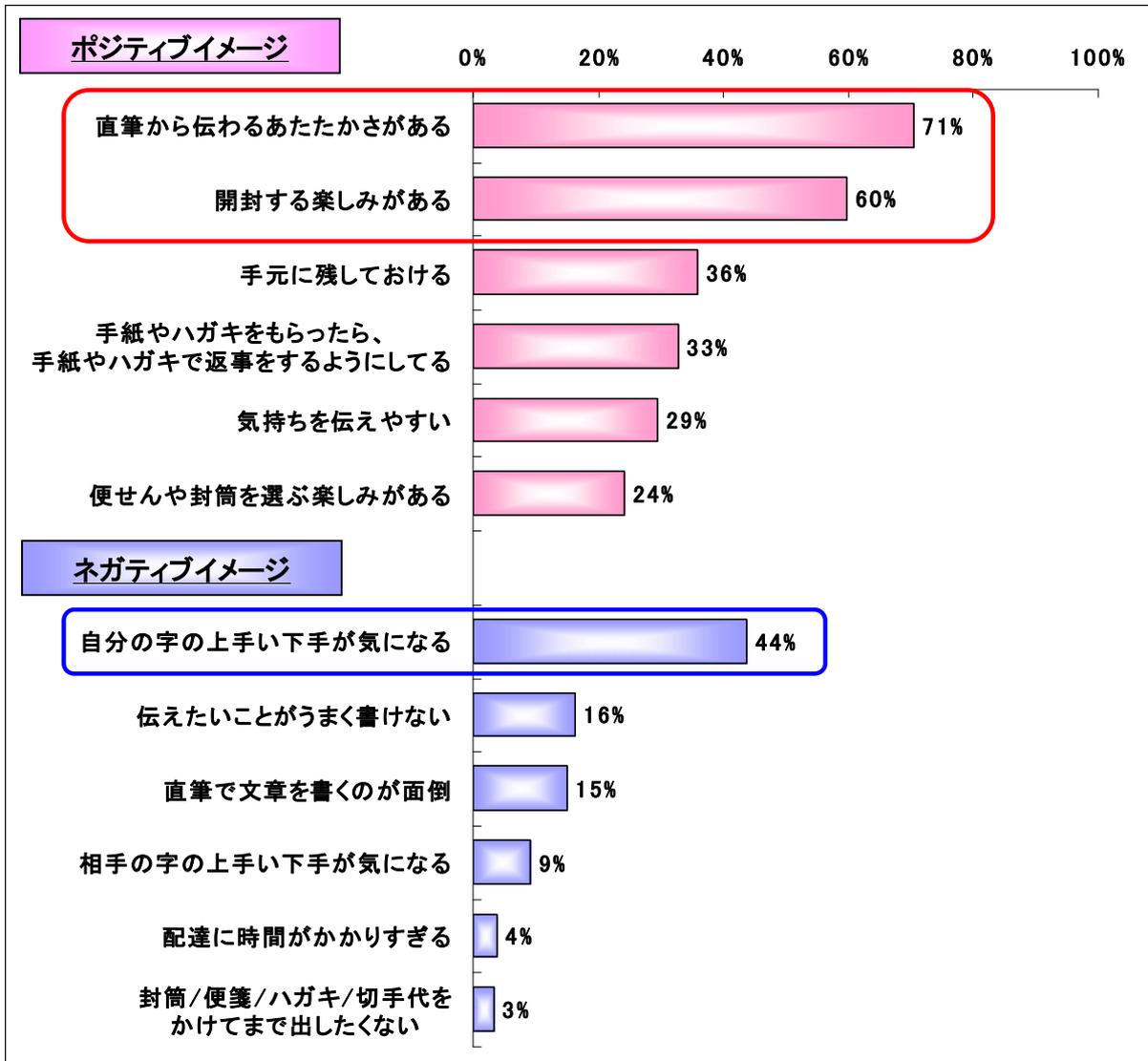


※Base: 全体

➤ 手紙やハガキを“もらうこと”については、86%が嬉しい(「とても嬉しい」+「どちらかという嬉しい」回答者)と感じている。また、女性は男性に比べ、20代以下は他の年代に比べ、手紙やハガキをもらうことを嬉しいと感じる割合が高い。

【手紙やハガキのよさ】

Q:手紙やハガキのイメージについて、あなたのお気持ちに近いものをすべてお選びください。(いくつでも)

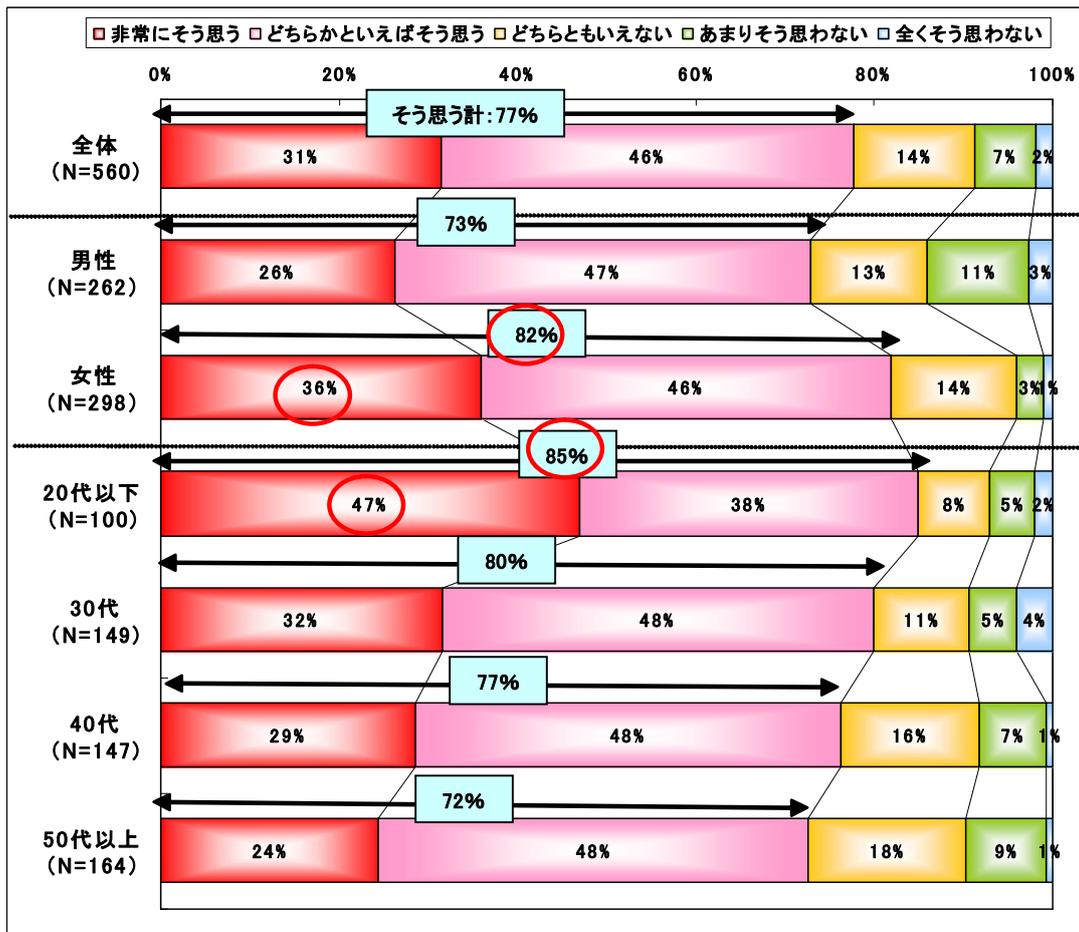
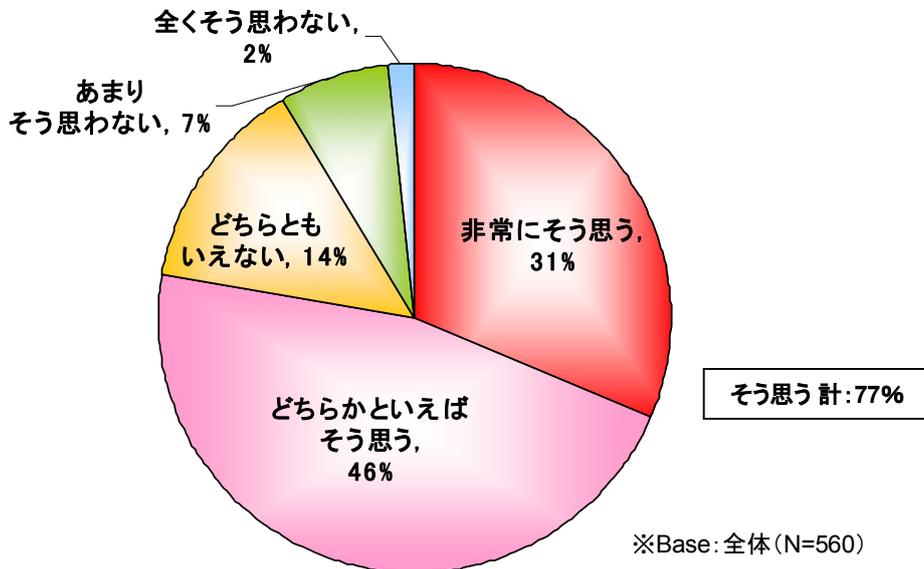


※Base: 全体 (N=560)

➤ ポジティブイメージとしては、「直筆から伝わるあたたかさ」、「開封する楽しみがある」が上位に挙がる。一方、ネガティブイメージは、「自分の字の上手い下手が気になる」が上位に挙がる。

【手紙やハガキの必要性】

Q: 気持ちを伝える手段として、あなたは、今後も「手紙」や「ハガキ」は必要だと思いますか。



※Base: 全体

➤ 8割近く(77%)が、気持ちを伝える手段として、手紙やハガキの必要性を感じている(非常にそう思う+どちらかといえばそう思う計)。特に、女性は男性に比べて、20代以下は他の年代に比べて、手紙やハガキの必要性を感じる割合が高い。

【手紙にまつわるエピソード(自由回答)】

Q:「手紙」にまつわるエピソード(嬉しかった手紙、出せなかった手紙など)があればどのようなことでも結構ですので具体的に教えてください。

- ・就職して、すごくへこんでいたときに父親からもらった手紙がすごく泣けた。
あー、あんまり頑張らなくてもいいのかなーと。(20代女性)
- ・字を少し読めるようになった孫が手紙が欲しいと言われ楽しんで書いています。(50代女性)
- ・子供や妻を励ます時に書きます。(40代男性)
- ・友人の結婚式で受付などのお手伝いをしたのですが、後日、その友人から手紙とお礼が届きました。本人と奥さんの気持ちがとても伝わってくる内容で、役に立てて本当に良かったと思うと同時に、改めて祝福の気持ちが湧いてきた思い出の手紙です。(30代男性)
- ・子供が高校を卒業したとき『いつもお弁当を作ってくれて有難う』という手紙をもらい嬉しかった。
(50代女性)
- ・祖父母の家に贈り物をすると、必ず達筆な字でお礼のハガキが届く。それもすぐ。それがいつも嬉しい。
(20代男性)
- ・遠距離恋愛の際に相手から手紙をもらうのがとてもうれしかった。メールとは違う喜びがある。(30代男性)
- ・タイプされた言葉ではなく直筆だと気持ちの込め方が伝わってくると思う。字が上手くなくても、丁寧に書かれた字を目にすると相手が本当に自分を大事に想ってくれてる事が通じて絆が強まると思う。(20代女性)
- ・昔はパソコンや携帯などが無い時代は、メールだなんて手段はありませんでした。葉書や手紙でやり取りしなければならなかったですね。しかし、今や簡単便利で、あっという間に相手に文章が届く時代になっています。そろそろ心を込めた手書きの文章でもしたためてみますか。(50代男性)
- ・海外に行くと、必ずささいなことを一言添えて自分宛か母宛に絵葉書を書きます。そして記念として、また今自分が無事であることを知らせるためにその国のポストから必ずエアメールを出していました。
つい先日、その私が出したチョコチョコとした葉書を母が綺麗にファイリングしてくれていたことを知りました。そのことで、母が私を思ってくれていることを再確認することができ、暖かい気持ちになりました。
今後もどこかへ行く旅に何気ない天気や近況をしたためて葉書を出したいと思っています。(20代女性)
- ・いつも記念切手にこだわっています。相手や内容に合致した切手を貼っています。時にはオークション等で古い切手を購入します。(30代男性)
- ・文通をしたが、なぜか長続きしないんで寂しくて自分宛に文通してた時期がありました。(20代男性)
- ・5年間札幌と名古屋の遠距離恋愛を終え、結婚式を迎える前最後の主人からの手紙を今も台所の引き出しに入れてあります。何百通のものやりとりは25年たった今でもいい思い出です。(50代女性)
- ・最近、学生時代の友人から手紙があり、驚いたと同時に嬉しくなりました。メールで済ませてしまうことが多くなった現代だからこそ、心に響くものなんだなと思いました。(20代女性)

※本ページに掲載されている調査結果は、出典先を「マーケティングリサーチシステム インサーチ」と明記の上、自由にご利用ください。

<その他のお問い合わせ先>

株式会社 インサイト インサーチ事務局

e-mail : info@insearch.jp